

校長室からつぶやき・・・ 「ツイート」新聞



宇美町立宇美南中学校
第48号
文責 校長 熊本 寿美
令和4年1月24日(月)

「言葉の力」伝えたい思いを言葉に。国語科学習指導の実践から。

2 学年 創作文「自分だけの桃太郎」

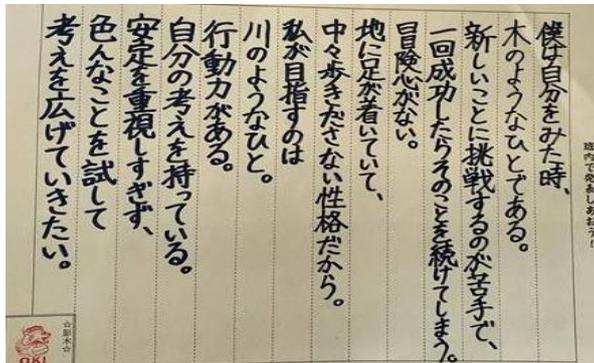
「むかし、むかし、ある所に、おじいさんとおばあさんが住んでいました。おじいさんは山へしば刈りに、おばあさんは川に洗濯に行きました。・・・」という日本昔話の桃太郎を、2 学年国語の授業で、「自分だけの桃太郎」の話を創作しています。登場人物を新たに3 人設定し、最後は、「めでたし、めでたし」で結ぶ6000文字設定の創作文です。

起承転結の話の展開には、謎の究明や仲間への願い、人への優しさや思いやり、未来への創造等、自分が伝えたい思いをテーマに作成されています。すべての作品を読みましたが、実に面白く、表現されている言葉や文章に作者の思いが伝わり大変感動しました。また、作品の表紙もそれぞれが手がけています。読みたくなる工夫がうかがえます。さらには、作品の「あとがき」に読者へのメッセージが書かれています。執筆での思いを振り返る内容にもなっており、学びを実感できる学習活動であったことをうれしく思います。

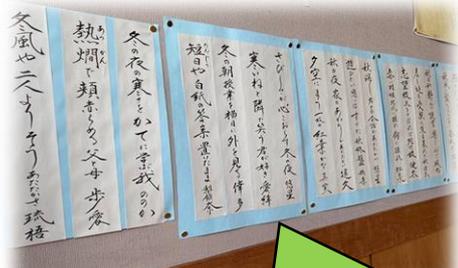


作品集は図書館においてあります。ぜひ読んでください。何を伝えたいのか、自己対話で深めた思いを、関連する情報や表現する言葉を選び工夫して創作されています。

3 学年 詩と俳句によせる思い



詩「水のようなひと」に、学び、自己を見つめて自己を表現



5・7・5の17音に思いを秘めて言葉で伝える俳句。季節感をとらえ、言葉を厳選して作る俳句の取組は、言葉の力が磨かれています。

汗ゆるる夜や負けじと汗えゆるへの音
賑わいを足跡に知る初雪よ
大掃除 なつかしきもの あふれだす
ほっとレモン 母の気持ちに身にしみる
早朝の凍てつく空気に 気合い入れ

第二十一回俳句「睦月」選出作品

3 学年国語の授業では、毎月俳句を作っています。俳句は、17 音で季節や思いを表現します。「座の文芸」と言われる俳句は、作るだけでなく他の作品に触れ鑑賞し合うことが俳句の醍醐味のひとつです。本校の3 年生も、毎回全員分を鑑賞し合ってコミュニケーションが広がっています。さらに、心の内を見つめたり、外の景色を見つめたりする、内と外を言葉で繋いで表現する魅力を楽しむ学習活動となっています。

また、詩「水のようなひと」の学習では、自己を見つめ目指す姿を自己表現する活動に取り組んでいます。自分の良さや課題、飛躍する未来の自分像とその決意が示されています。生徒たちの素晴らしい感性と表現に感動します。思いを伝える言葉、語彙を増やしたり適切に使ったりできる「言葉力」を磨く指導の意義を感じています。



「生徒会ひまわりの言葉集」は、第24 代生徒会の提案で全校生徒の思いを結集し作成されました。「友達から頼りになるね」と言われて頑張った。「ありがとうの言葉が一番うれしい。」など、輝く言葉が広がっています。本年度の重点取組である言語環境づくりに、生徒自らも取り組んでいます。

「鍛えて・ほめて・励まして」 南中生のよさや頑張りが輝く学校づくり